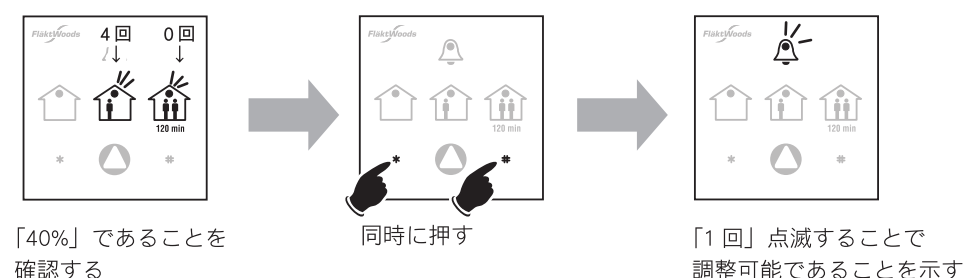
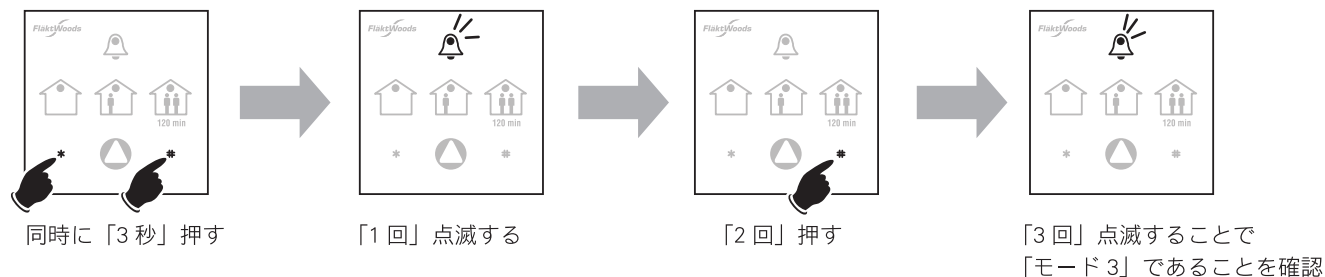


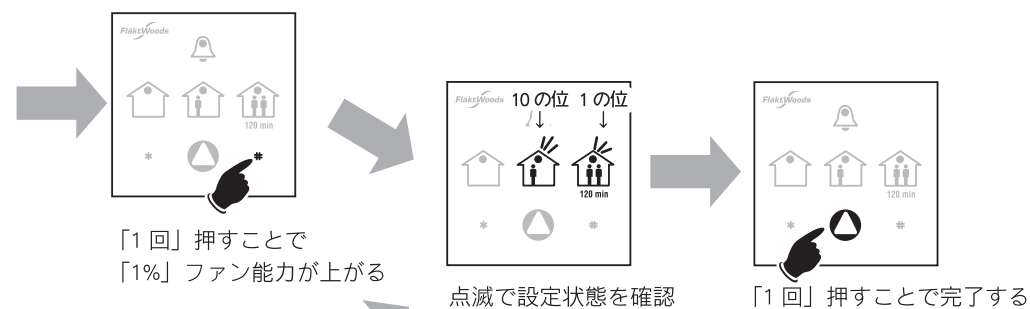
7.設定

■通常運転のファン能力を変える場合の設定方法【モード3】

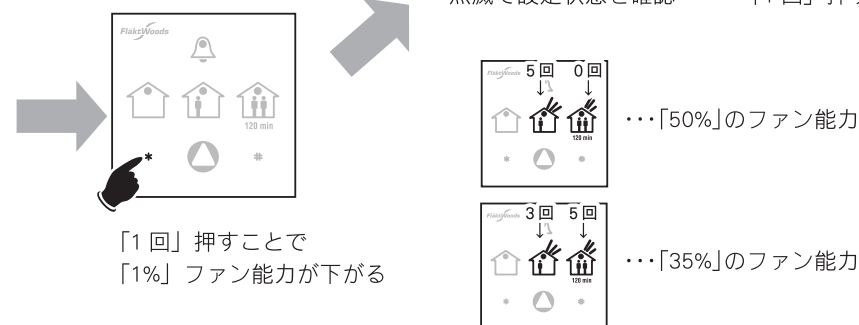
ファン能力を設定するモードにする



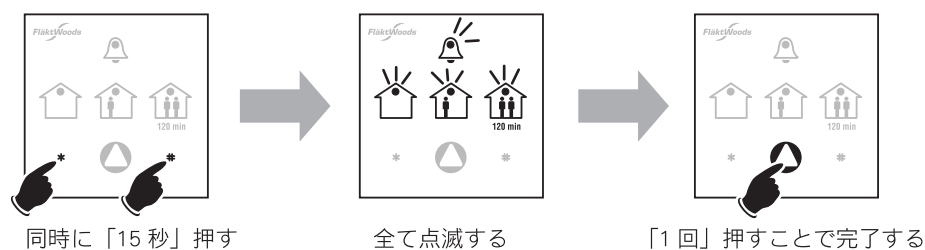
①の手順を行った後、
ファン能力を上げる場合
例) 50%にする



①の手順を行った後、
ファン能力を下げる場合
例) 35%にする



変更した設定を工場出荷時に戻す場合



工事説明書

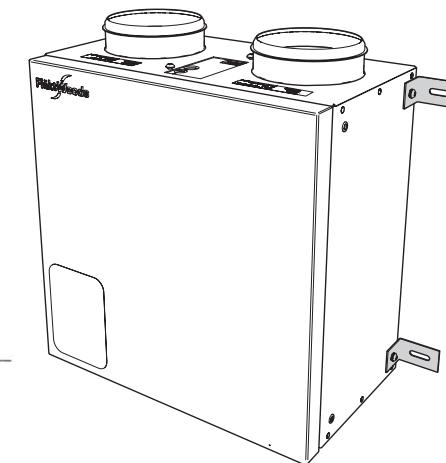
取扱説明書は必ずお客様にお渡し下さい。

販売店・工事店さま用

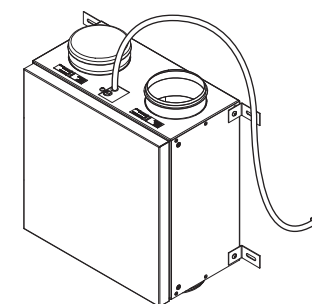
【第三種換気システム】

形名

JBDG-03-0-2M



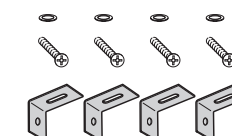
入っているか確認してください



本体(JBDG-M)×1
電源用コード



コントロールスイッチ
(RDZ-41) ×1
コード: 2m



本体取付金物 (4個入り) ×1



取扱説明書 ×1

GADELIUS

Established in Japan, 1907

ガデリウス株式会社

LEH建築材料部

www.livingscandinavia.com

〒107-0052 東京都港区赤坂7-1-1 青山安田ビル4F
TEL.03-5414-8762 FAX.03-5414-8755

〒065-0024 札幌市東区北24条15-4-20 日弘ビル3F
TEL.011-743-7710 FAX.011-743-7721

〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町1-9-1
仙台トラストタワー10階 CROSSCOOP内
TEL.022-209-5440 FAX.022-774-1636

〒650-0001 兵庫県神戸市中央区加納町4丁目4番17号
ニッセイ三宮ビル15F
TEL.078-331-6574 FAX.078-331-6582

1. 安全のために必ずすること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

 警告 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの			
 禁止	 ●単相 200V 以外では使用しない	 指示に従う	 ●外気の取り入れは、燃焼ガス等の排気を吸込まない、積雪で埋もれたりしない位置を選ぶ 新鮮な空気が取り入れられず、室内が酸欠状態になる原因。
	 分解禁止		 ●本体の設置は十分強度のあるところを選んで確実に行う 落下によるけがの原因。
	 浴室使用禁止		 ●指定の電線を使用して、抜けないよう確実に接続する 接続に不備があると火災の原因。
	 アース線接続		 ●電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う 接続不良や誤った電気工事は感電や火災の原因。  ●メタルラス張り、ワイヤラス張りまたは金属板張りの木造の造営物に金属ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないように取付ける。 漏電した場合、発火する原因。

⚠ 注意 誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

 禁止	●高温となる場所や直接炎があたったり、油煙の多い場所には取付けない 火災の原因。
 指示に従う	〈本体〉 ●本体およびダクト配管は断熱層・気密層の室内側に設置する 断熱層の室外側では、結露などが発生する原因。 ●本体設置は本体の傾きが±1°以内になるように設置する 水漏れにより住宅構造躯体を濡らす原因。 ●端子台カバーは電気工事後、必ず閉める ほこり、湿気などの侵入による、漏電・火災の原因。 ●設置の際は必ず手袋を着用する けがの原因。 ●部品の取付けはねじれ、変形が無いように確実に行う 落下によるけがの原因。 ●製品を置く際に、落としたり投げたりして衝撃を与えない 製品内構造物の破損による風漏れ・水漏れの原因。 ●本体は寝室の近くに設置しない 低騒音設計になっていますが、就寝時はわずかな音でも気になります。 〈ダクト配管〉 ●本体から屋外へ向かう排気ダクトの断熱は必ず根元まで行う 冬期露出部分が低温になるため、室内湿気による結露発生の原因。 ●ダクト配管の外れが無いよう市販の固定バンドやアルミテープ等を用いて固定し、本体からの屋外側ダクトは屋外に向けて 1/30 以上の下りこう配(雨水・雪浸入防止)になるように取付ける 雨水の浸入による感電・火災や家財の破損の原因。 ●点検口、天吊ボルト、床固定ボルト他のダクト配管へ接触させない 異常音、振動の原因。 ●排気ダクトの先端には、雨水、雪、小動物(こうもり等)が侵入しにくい屋外フードを選定する 小動物の侵入には、ガラリの幅が 1～2 cm の屋外フードを取付けてください。 ●100φ以上の硬質ダクトを使用する

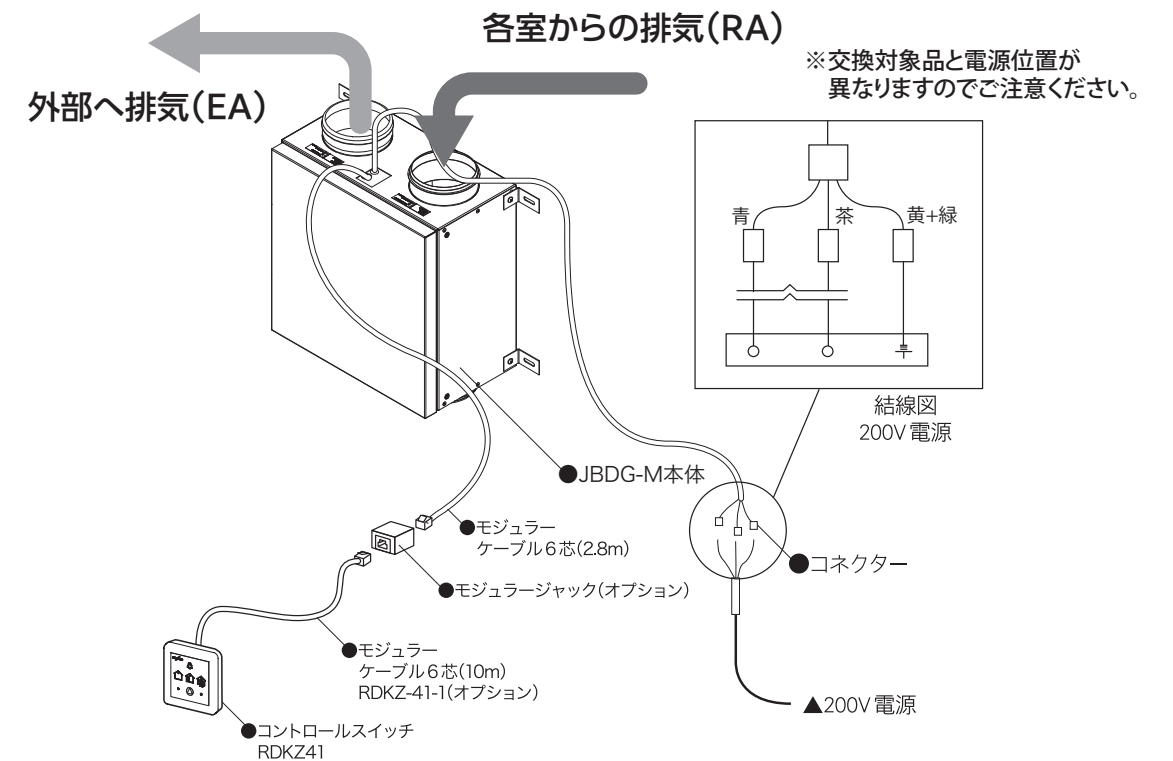
お願い

- 天井材は共鳴しにくい材質をご使用ください。
- 本体は寝室の近くに設置しないでください。
(騒音クレームの原因)
- 排気グリルは反響し難い場所に設置してください。
(騒音クレームの原因)
- 屋外フードの位置は給気・排気が混ざらないようダクト貫通穴径の5倍以上離してください。
(625 mm以上の距離をとることが望ましいとされています)

- 次のようなダクト配管はしないでください。
(風量低下や異常音発生の原因)

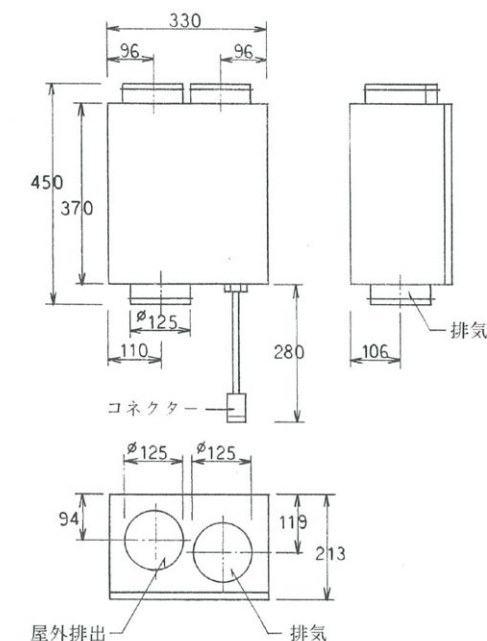
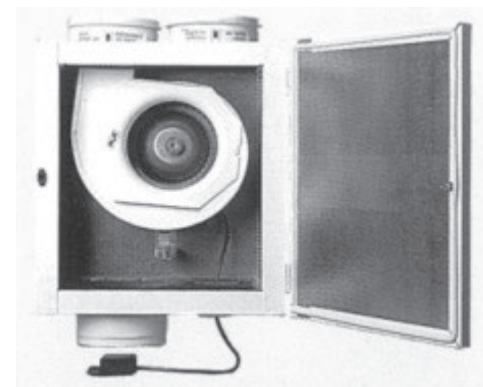
※極端な曲げ 	※多数の曲げ 	※吐出口のすぐそばでの曲げ 	※しぼり 
---	--	--	---

2.ダクト接続方向・電源接続位置

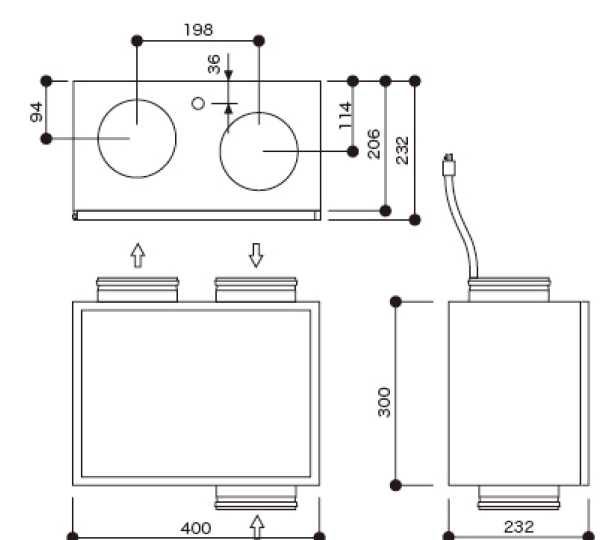
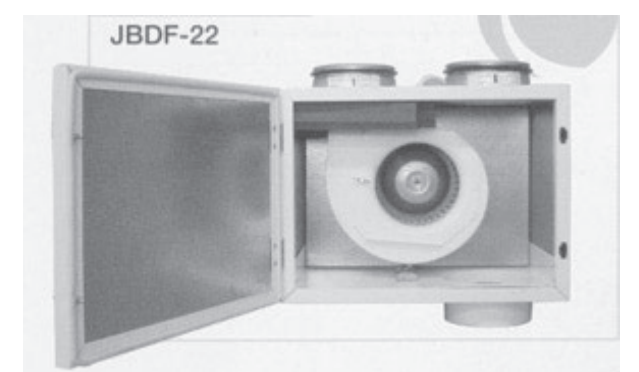


3. 交換対象商品

■ JBDC-1-1 外形寸法図(単位:mm)

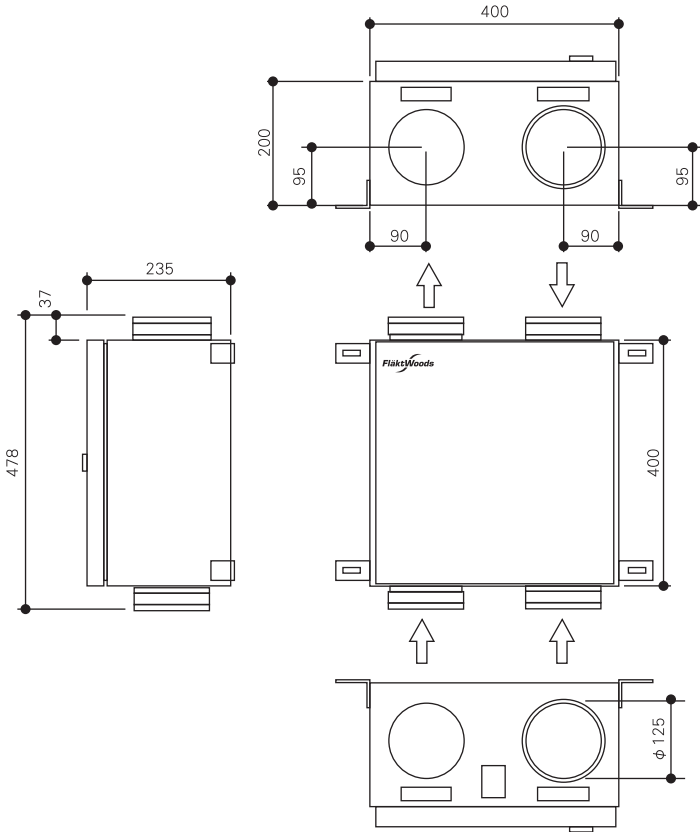


■ JBDF-22 外形寸法図(単位:mm)



4. 寸法・主要諸元

■ JBDG-03-0-2M 外形寸法図(単位:mm)

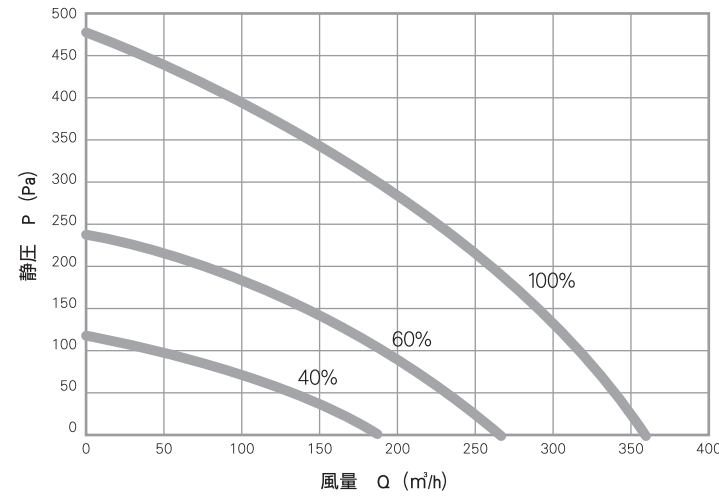


■ 主要諸元

形 式	JBDG-03-0-2M
最大風量 (1/3 Pmax)	280m³/h
重 量	12kg
ファン/モーター 定格	76W (通常運転時12W)
モーター種別	DCモーター
電 源	単相200V/50・60Hz
ア ー ス	要
ドレイン配管	不要
通常運転	モーター出力 40%* モーター出力 60%*1
強	モーター出力 100%

* 工場出荷時の設定値
*1 出力を変更設定した場合

■ 風量特性



■ 取り扱いの注意

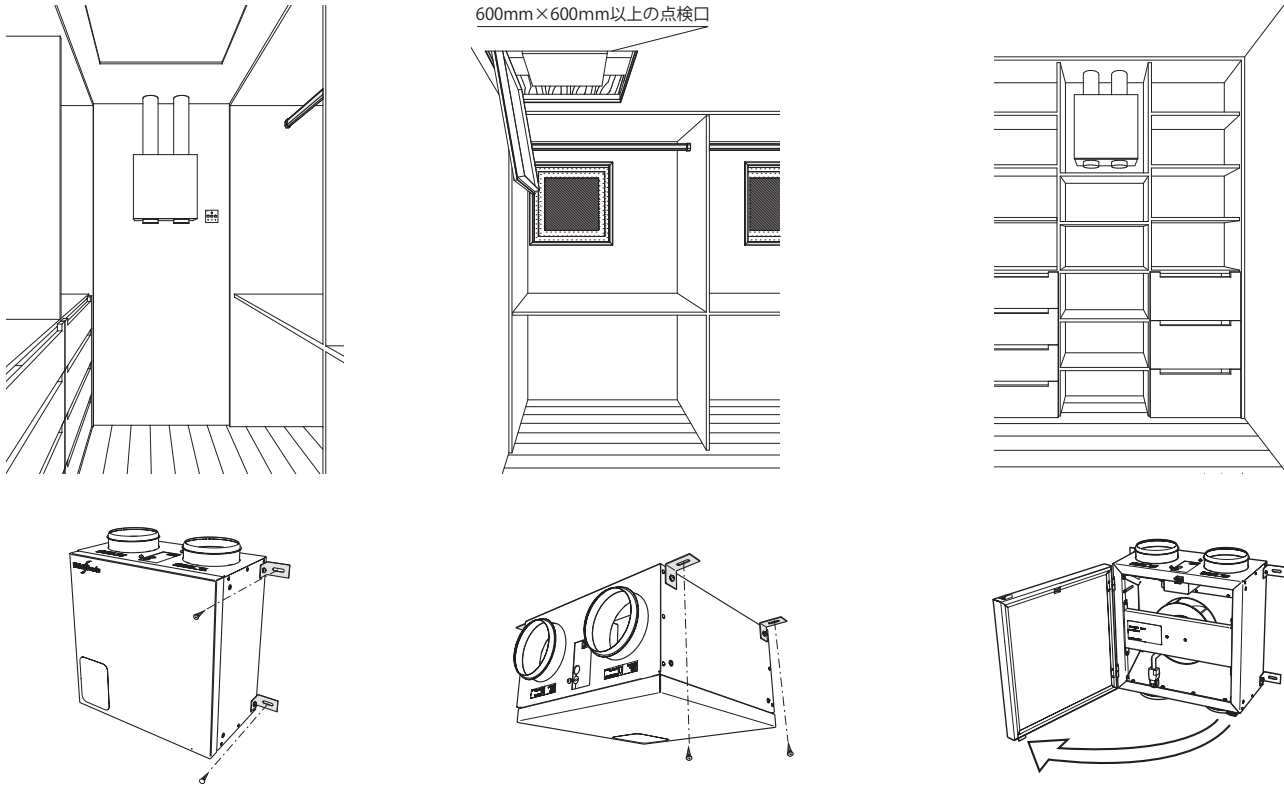
- 1. 本システムは 24 時間運転を行って下さい。お手入れの時のをぞいて停止しないで下さい。断続運転をされると管内結露、結露による射体の損傷、換気不足が起こる可能性があります。
- 2. 本機運転中に本機の扉を開けた場合、自動的に停止する仕組みになっています。
- 3. 本機運転中コントロールスイッチのカバーを開けないで下さい。感電 (200V) の恐れがあります。
- 4. 万一、本機から異音、異臭もしくは本機が止まった場合、電源を切った後、速やかに管理事務所、施工業者、または弊社に修理依頼をして下さい。
- 5. 本機停止時は換気できない状態になります。適時窓の開閉などで換気を確保して下さい。
- 6. 点検や掃除はモーターの回転が止まっていることを確認してから作業を開始して下さい。
- 7. 本機内の作業においてファン、本体等金属部分によって怪我のないよう充分にお気をつけ下さい。
- 8. 本機は定期的メンテナンスが必要です。内容については取扱説明書をお読みください。

5. 本体設置工事

● 本体の据付 ● 本体周辺の納まり

本機は、洗面室、ボイラー室、ユーティリティー、小屋裏等、どの場所でも据付可能です。

- ※点検時等、前面カバーの開閉が必要となりますので、本機上端及び下端から5cm以上スペースを確保してください。
- ※ダクト接続は、既存ダクトを再利用していただいても構いませんが、隙間が生じないようにテープで気密処理を行ってください。
- ※ダクト配管スペースを確保してください。
- ※寝室に近い場所への据付は避けてください。
- ※スイッチは配線することにより、任意の位置に取付けることができます。(延長コード10m以内)

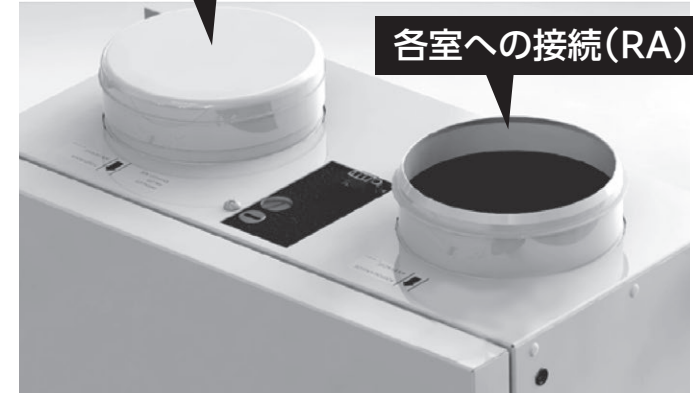


■ 本体工事

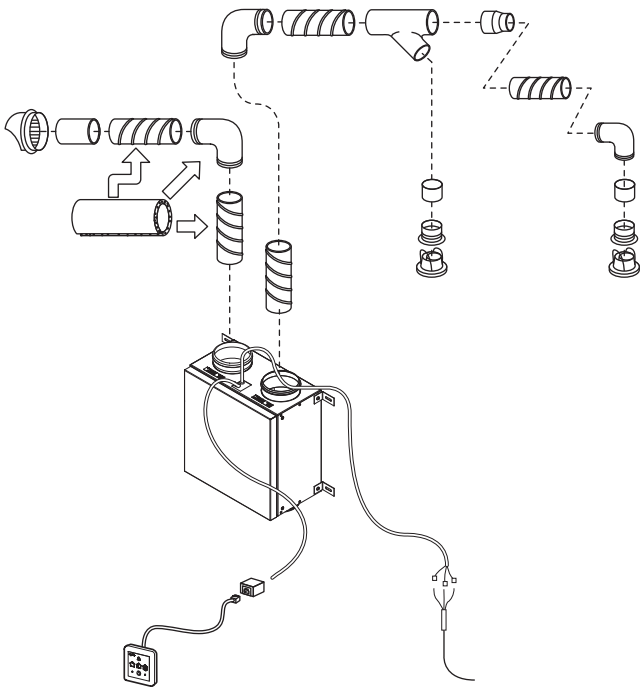
- ① 本機に付いている4ヶ所の金具でビス止めをします。
※壁面が強度的に弱い場合は、桧木等で補強を必ず施して下さい。
- ② 本機周辺のダクト配管を行い、コントロールスイッチを本体より10m以内の適当な場所に、設置して下さい。

■ 外部への排気口
接続可能な口は全てで4つあります。そのうち3つは室内用で、1つのみ外排気へ接続します。

外部への接続(EA)



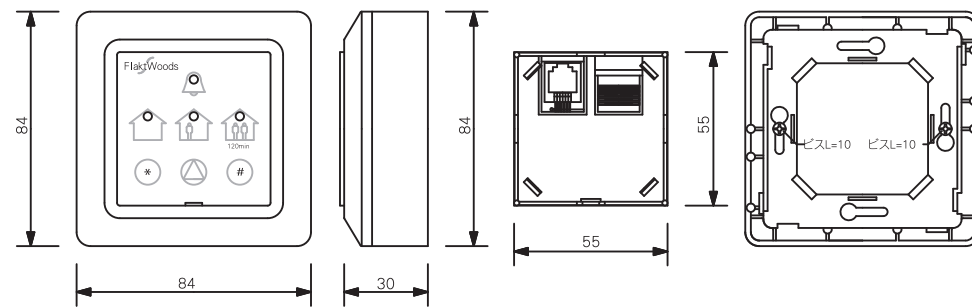
③ 本体は白塗装品ですが、必要に応じて化粧カバーで覆ってください。



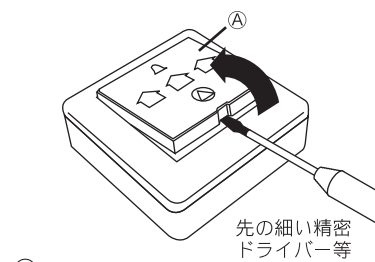
6.コントロールスイッチの取り付け

●コントロールスイッチの取り付け

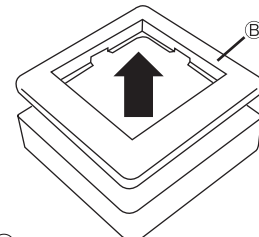
■外形寸法図



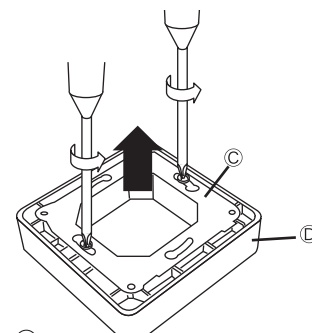
●コントロールスイッチ施工要領



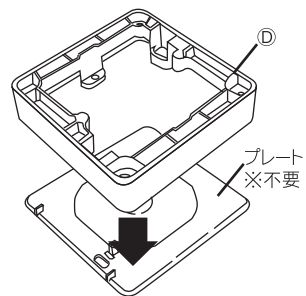
①
④の下部へコミにマイナスドライバーの先を差し込み、④をはずします。



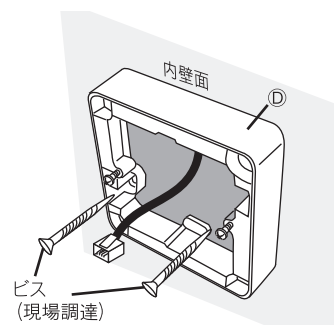
② ③をはずします。



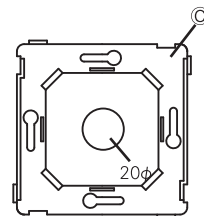
③
④と③を接続している2本のビスをゆるめ、③をはずします。



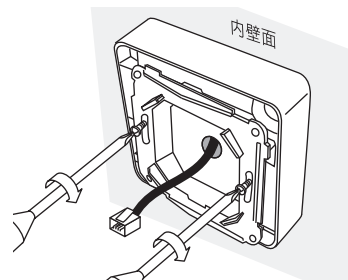
④
⑤の裏側に付いているプレートをはずします。※プレートは使用しません。



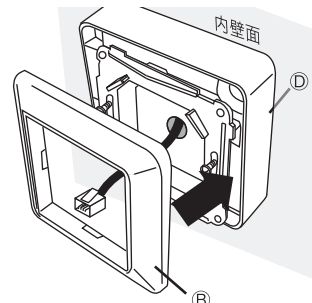
⑤
壁面にビス（現場調達）等を用いて④を固定します。制御ケーブルはあらかじめ通しておいて下さい。



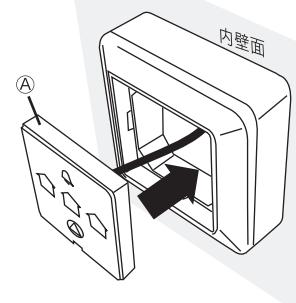
⑥
◎の中心に、制御ケーブルを通す
為の穴を開けてください。
(20φ程度)



⑦
2本のビスをしめて、Cを固定してください。



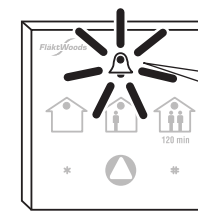
⑧
③を④に押し込んで取付けてください。



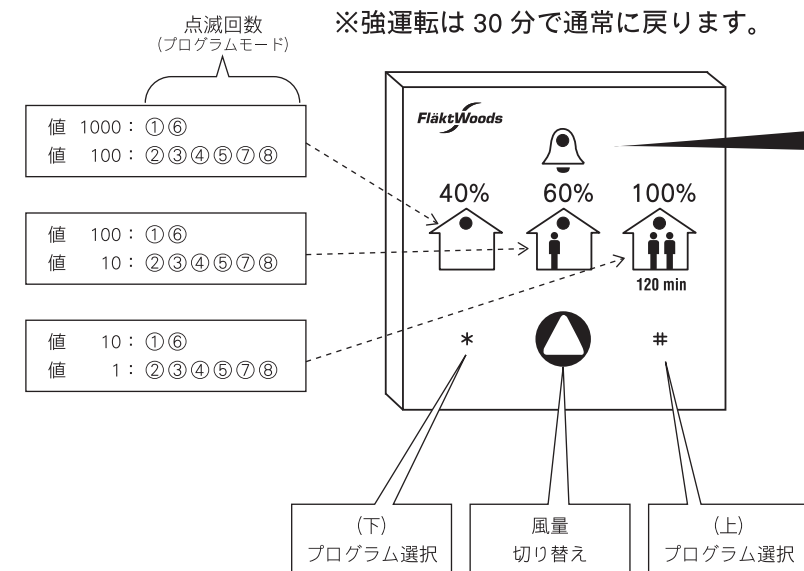
⑨
④裏面にモジュージャックを接続し、④をはめこんで下さい。

7. 設定

■コントロールパネルの説明 (RDKZ-41)



インジゲーターランプの点滅回数で、パラメーターリストの「モード」を示します。



■点滅回数（プログラムモード）

モード①	設定無し
モード②	設定無し
モード③	弱運転 (初期 40%)
モード④	中運転 (初期 60%)
モード⑤	強運転 (初期 100%)
モード⑥	設定無し
モード⑦	設定無し
モード⑧	設定無し

※CO2センサー有りの場合は、モード④の中運転設定はありません。

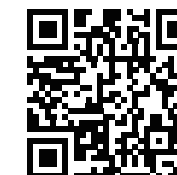
JBDG操作方法動画



JBDG通常運転



JBDG工場出荷時リセット



JBDGモード確認後の 設定値変更



JBDGモード確認